

平成 21 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦
(コード番号: 4321 東証一部)
問い合わせ先 取締役経営企画担当 吉川泰司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

シンジケートローン契約の締結について

当社は平成 21 年 3 月 30 日付で、三井住友銀行と三菱東京 UFJ 銀行を共同アレンジャーとする 158 億円のシンジケートローン契約を下記の通り締結いたしましたのでお知らせします。

記

1. 金 額 15,800,000,000 円
2. 期 間 平成 21 年 3 月 31 日～平成 22 年 6 月 30 日
3. 共同アレンジャー 株式会社三井住友銀行／株式会社三菱東京 UFJ 銀行
5. エージェント 株式会社三井住友銀行
6. 参加金融機関 以下 9 社
株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京 UFJ 銀行、中央三井信託銀行株式会社、
農林中央金庫、株式会社りそな銀行、株式会社三重銀行、
株式会社関西アーバン銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、
三菱 UFJ リース株式会社
7. 概 要 等 当社では、上場リートや私募ファンド等への売却を目的として、自己勘定による不動産投資を進めてまいりました。しかし、金融危機に端を発した不動産流通市場の停滞から、当面は、これまで通りの円滑な売却を進めることが困難な状況が想定されています。一方、こうした自己勘定投資にかかわる資金調達については、シンジケーション方式によるコミットメントラインを活用した短期の借入を中心に行ってきたおり、物件売却が進まない中でも、これらの短期借入の返済期日が順次到来していくことになる為、資金調達構造の転換の必要が生じています。(平成 20 年 12 月現在の個別財務諸表における短期有利子負債 699 億円)
こうした状況に対応するため、コミットメントラインを利用した借入額(平成 21 年 2 月末残高 346 億円)のうち、まずは今後半年間の期日到来分 210 億円について、あらためてシンジケートローン方式による借り換えを行うことといたしました。新たな借入については、期間を 1 年超とすることで資金調達を安定させ、借入返済のための無理な物件売却を避けると同時に、物件保有期間中の安定的な賃貸収益を確保していくことに資するものです。
本件は、独立したシンジケートローン 2 契約をあわせて再組成する新たな試みであり、アレンジャー 2 行をはじめ参加金融機関のご協力・ご理解をもって実現にいたったものです。
当社では、今後も親密金融機関の支援を得ながら、様々な施策により財務体質のさらなる安定を図っていく所存です。

以 上